

第77号

2021年10月  
認定特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX 022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail : [muginokai@k5.dion.ne.jp](mailto:muginokai@k5.dion.ne.jp) <https://www.muginokai-koppe.com>

目次	みやぎアピール大行動開催しました	飯嶋 茂	・・・	1p
	みやぎアピール大行動アピール文		・・・	2p
	麦の会との出会い	WATALIS 引地 恵	・・・	3p
	たごまるスティのお泊りのこと	鎌田 啓夢	・・・	5p
	はじめまして	久保 純子	・・・	6p
	漢字のかみさま②	神品 暖子	・・・	7p
	お祈り	阿部 央希	・・・	8p

### みやぎアピール大行動開催しました

飯嶋 茂

9月23日、今年もみやぎアピール大行動を行いました。コロナの影響で緊急事態宣言が出され、会場として予約していたせんだいメディアテークも期間中は閉館とされるなど開催も危ぶまれましたが、感染対策を行いながらなんとか開催することができました。

今年は「震災から10年～私たちのいのちと生活をどう守るのか」をメインテーマに、岩手の栗田さん（元JDFいわて支援センター事務局・きょうされん理事）・福島白石さん（NPO法人あいえるの会理事長）（お二人はZOOM参加）の他、県内の当事者・関係者6名の方によるリレートークを行いました。

このような状況の中でしたがたくさんの方が参加してくれました。声に出して自分たちの置かれている状況を訴えたいという方が多くいることの表れだと思いますし、障害種別を超えて集まることの大切さを教えてくれます。次ページにアピール文を載せています。ご覧下さい。

今号ではWATALISの引地さんに文章をよせていただきました。WATALISさんは東日本大震災後から、亘理町を拠点に女性の活躍する場を作り続けています。今では、コッペのクッキーをたくさん注文頂いています。そのバイタリティは感心するばかりです。

東京・多摩市のあしたや共働企画のメンバーの湯田さんがなくなったとの連絡がありました。共同連大会ではいつも一緒でした。阿部君が追悼文を書いてくれました。ご冥福をお祈りします。

## 震災から10年～私たちのいのちと生活をどう守るのか みやぎアピール大行動2021 アピール

“復旧ではなく復興” “以前に戻すのではなく、より良く”

2011年3月11日の東日本大震災の被災地域だけでなく、あらゆる場面で発せられた言葉である。あの時、逃げ遅れ、避難できず、物資や必要不可欠な医療や介護・福祉サービスが途絶えた。災害時には、もともとあった課題が浮き彫りになる。課題とは、平時の障害者などに対する支援の圧倒的不足である。この不足している支援や資源を質・量ともに増やし、暮らしを豊かにしていこう、という思いが冒頭の言葉に込められている。

あれから10年が経ち、様々な場所で様々な取り組みが行われてきたが、まだまだ豊かな地域生活を送ることはほど遠い状況にある。私たちの声がいまだ届きにくいことが一因としてある。私たちが掲げているスローガン「私たち抜きに私たちのことを決めるな！」は、共に参画し、共に考え、共に決めていきたいという叫びだ。

また、昨今のコロナ禍は、私たちの暮らしに大きな困難をもたらしている。必要以上の感染恐怖は、社会全体に様々な分断・差別を生み、それまでの人間関係も引き裂こうとしている。さらに、これまで私たちは“より良い暮らし”“差別のない社会”をめざして、外出をし交流を図るといったことを続けてきた。しかし、そうした行動は制限され、現状の生活を守ることで精一杯である。

感染予防のために自粛を余儀なくされ、社会全体が疲弊し、終息への道筋は見えない。これは長年障害者への支援を十分に行ってこなかった姿勢と同じものだ。市民生活の軽視であり、自助で暮らしの維持が難しい者への軽視である。こうした状況に対しても「当事者の声を聞け！」と訴え続け、“守り”から“興す(おこす)”取り組みを続けなければならない。

私たちは、これまで、障害者の生活をより困難なものにした障害者自立支援法に反対する運動で連帯してきた。これからもこの場に集まった仲間、集えずとも同じ思いを強く持っている仲間たちとともに、障害の有無やさまざまな立場を越え共に暮らせるみやぎをつくっていこう。そして、本日、みやぎアピール大行動に結集した私たちは、自信と誇りを胸に、15回目の街へ出よう。

2021年9月23日

みやぎアピール大行動2021 参加者一同

## 【麦の会との出会い】

株式会社 WATALIS

引地 恵

WATALISは、箆笥に眠る古い着物地をリメイクし、再び世に送り出す「アップサイクル」に取り組むブランドです。宮城県南部にある亘理町の女性達が着物地の色や柄を活かしながら、ひとつひとつ丁寧に手作りし、長い歴史の中で培われてきた日本の意匠の美しさに新たな命を吹き込んでいます。“ものを最後まで大切に使い切る”という古き良き再生文化を受け継ぎ、縁起の良い文様に込められた人々の幸せを願う心を、沢山の人の人々に伝えています。

2016年に地域の方が気軽に集える場として「中町カフェ」を開店する際に、高齢者の方々も挽きたてのコーヒーと一緒に楽しめるようなお菓子を探していました。

共生地域創造財団の多々良さんからの紹介で就労継続支援 B 型事業所である麦の会を知りました。多々良さんが学生の頃、ここに通ってボランティアをしていたと聞きました。

訪問させていただくと、皆さんが笑顔で迎えてくださいました。利用者の方々が次々元気に挨拶して下さる様子や職員の皆さんとのやり取りを拝見しているうちに、とても温かい職場であることが伝わってきました。

試食させていただいたクッキーは、本当においしくて驚きました。甘すぎず、素材の味がしっかり伝わってくる素朴でしっかりした味で、何枚でも食べられます。国産の良質な材料にこだわり、添加物を使わずに一枚一枚焼き上げているそうです。

私たちはすっかり麦の会のファンになり、「中町カフェの焼き菓子セット（コーヒーとクッキーの盛り合わせ）」が生まれました。

2019年からは、宮城県亘理町産のいちごを使用した「亘理のいちごクッキー」も製造していただいています。亘理町は東北一のいちごの産地でしたが東日本大震災の津波により生産者の9割が営農できなくなるほどの大きな被害を受けました。いちごづくりをあきらめようと思った農家さんもたくさんいました。しかし様々なボランティア支援もあり営農を再開したいちごです。自然豊かで年間通して気候が温暖な亘理町のいちごを使用したクッキーを、たくさんの方に味わっていただきたいです。

社会起業家の大先輩である飯嶋さん。いつもいろいろ教えていただいて、私もスタッフもとても感謝しています。想いを形にし、継続されている姿をみならって行きたいと思っています。

# E かお

## 役割終えた着物小物に

みやぎ 経済

家のたんずりに眠り、衣類としての役割を終えた着物。引き取って着物地の小物を手仕事で作り、価値を高めて再び世の中に送り出すアップサイクル事業を展開する。

「嫁入りの持参品や七五三の晴れ着など、一つ一つに愛情や感謝の思いが詰まっている。そうした思いをくみ、再利用のお手伝いをしたい」。これまでの活動を通じ回収した量は約9トに上る。

事業の原点は巨理町職員時代の東日本大震災後に出会っ

9/16 河北

WATALIS社長

引地 恵さん(53)



た農家の女性。着物の残り布 12年に退職して起業した。で巾着袋を作り、お祝いやお返しに米を入れて渡している。暮らしの中に伝わる文化を発信したいと決意し、20 経営の視点を磨いた。「ずつ

と昔からやっていると感じるくらい働いてきた。すてきな方々に出会えて世界が広がった」と振り返る。

新型コロナウイルス禍で、商品を取り扱う百貨店や旅館など全国約50カ所ある売り場が打撃を受けた。着物生地の販売やマスク製作に加え、菓子作り、養蜂に取り組みなど事業の多角化に挑んでいる。

ひきち・めぐみ 宮城教育大学院修了。会社勤務を経て1993年に巨理町職員。11年に任意団体ワタリス設立。町役場を退職後、13年一般社団法人、15年に株式会社化した。復興庁リバイブジャパンカップ大賞などビジネスコンテスト受賞多数。巨理町出身。

# たごまるスティのお泊まりのこと

2020年 9月に「たごまるスティ」を初めて見学しました。秋にお泊まりを「たごまるスティ」にお泊り橋とになりました。おやつはじゃがりこを食べました。みんなで「ごはん」はとてもおいしかったです。夜はお風呂に「サブーン」と入りました。朝は「ごはん」をたくさん食べました。9時に「たごまるスティ」を出発しました。9時30分に「フック」を出発することになりました。

2021年にテレビでオリンピックを観ました。「たごまるスティ」で「タブリ」を金賞しました。お部屋は涼しかったです。お泊まりの荷物は母が届けてくれました。

9月2日「木」の夕食メニュー

ごはん、みそ汁、サラダ、トマト、鶏肉のポン酢、ブロッコリー、カニカマブロッコリー、サラダ、キムチ、茶でした。とても美味しかったです。

鎌田啓夢

## はじめまして

4月からコッペで働いています。久保純子と申します。

コッペの商品にはなじみがあったものの、コッペの内側は未知の世界でした。

半年たちまして、ようやく仕事の輪郭がみえてきたような段階です。

「働く」とは、人が動くことなのだなあと、実感しました。

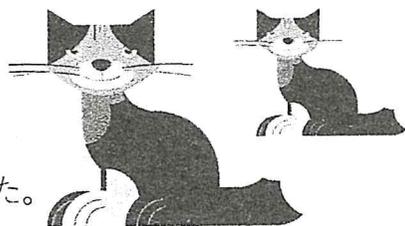
メンバーの皆さんも、職員も、いつも動いている！！！！

ここへ来て、自分の雑さも実感し、いつも仕事を増やしてしまい反省の毎日です。これからも、皆さんのペースについて行けるように頑張ります。

昭和47年生まれのO型。

子どもが2人いて、どちらも男です。

2年前にかわいい猫の娘を2匹家族に迎えました。



自然の中に行くと気持ちが元氣になります。が、最近はおうちで過ごすことが多いです。

温泉や、旅行を楽しめる日が待ち遠しいです。

一人前にはほど遠く、いつも助けていただいてありがとうございます。これ

からも色々教えてください！！！！どうぞよろしくお願ひします。

今月の暖子さん

仕事・漢字を頑張っています。

7/3

驅騎駐脈潤犧牲獻曉鷄鯨堂蚊生撮

# お祈り

阿部 央希

故 湯田仁美ちゃん 本当に

亡くてしまいました。深く心から

お祈りします。「あしたや」の大事な

仲間でした あの時 共同連会で

ワークショップで一緒にやってくれました。

夕食や一緒に遊んで、とても良かったよ

ありがとう天田からあしたやの皆事

見守ってね コッパの阿部 央希も仁美ちゃん

事が友達です。ありがとう、さよなら

あしたやは大事な仁美ちゃんの仲間がいます。